

## 心が通いあうしあわせづくりを理念に営業支援を展開 株式会社ちよだ

株式会社ちよだの前身は渡邊茂氏が1948年に創業した千代田印刷所。1951年に千代田印刷株式会社として設立し、今年64周年を迎える老舗の印刷会社だ。当時から大阪市内の企業を中心に伝票や封筒、名刺、葉書等の商業印刷物の制作を行っていた。

1995年にWindows95が発売されて手軽に印刷ができるようになり、印刷業界は大きな変換機を迎えた。印刷業界にとって新たな時代の幕開けといえる1996年に現在の代表取締役である渡邊敬子氏が同社に入社した。

### 4人のお母さんから会社の後継者へ

渡邊氏は創業者の長男の妻で、子ども4人のお母さんだ。入社きっかけは義父から社員旅行へ誘われて行ったことだった。

「ちょうど下の子どもが小学6年生になり、子育てもひと段落したなと思っていたところに、社員旅行で沖縄に行くから一緒にどう?と誘われたんです。行ってみたかったこともあって参加したら、社員の皆さんとも打ち解けてすごく楽しかったんです。その後、後継者を探している義父や工場長、営業部長から「入社してほしい」と言われて、『ぜひやってみよう』と思ったんです。」

しかし、ご主人は反対だったとか。「子どもの頃から義父を見て育った夫は経営者の大変さを知っていました。それに自分が別の仕事を選んでいたり、私にさせるのは申し訳ないと思っているようでした。ですが、私の実家も自営業を営んでいましたので抵抗はありませんでした。それよりも私でなければ役立ちたいという気持ちでした。」

もともとは検査技師として働いていたが結婚後退職。子育てをしながらもPTA活動など社会と関わることが楽しかったという渡邊氏は、後継者問題に悩んでいた義父や会社の社員のことを思い、夫を説得して初めての印刷業界へ飛び込んだ。

### 困っていることを解決するために即行動

入社後、営業同行したり名刺の原稿を制作したりしながら、「みんなが困っていることを手伝いたい。」と考えた。まだパソコンを使える人がいなかったため、自ら勉強して販売管理ソフトを導入。当時はまだ手書きの伝票が主流だったが、管理ソフトによって効率的な管理が行えるようになった。

しかし、新しいシステム導入によってトラブルが起こったことなどがあり、「やはり後継者として続けていくのは無理かもしれない。辞めよう。」と考えたタイミングに義父が倒れた。その時、「このままでは辞められない。これも宿命かもしれない。」と感じて迷いなく仕事に取り組んだという。そして、2001年に代表取締役に就任する。

### 厳しい状況でも前向きに挑戦を続ける

当時は平成不況の真っ直中。厳しい経営環境を乗り越えるために古い機械の整理から始めた。「昔は伝票が商品の主流だったので一色刷の印刷機がたくさんありましたが、カラー印刷の時代に合わない判断し、機械を最小限に抑えて外注先を確保しました。」

さまざまな取り組みに挑戦しながらも、社員とのコミュニケーションについて考えるべきことがあった。「何気なく発した言葉がある社員の気持ちを傷つけてしまったとわかったんです。経営者としての立場の重さを実感しました。大変申し訳なくて、繰り返さないためにも、経営の原理原則やコーチング、神経言語プログラミング(NLP)を学びました。」そして、経営理念づくりや社員一人ひとりの力を活かす経営に取り組んだ。

### ‘もっとお客様の役に立ちたい’と営業支援事業を開始

2006年、株式会社ちよだと社名を変更する。経営理念に「心が通いあうしあわせづくり」を掲げて印刷事業部以外に、営業支援事業部を立ち上げた。営業支援事業部ではお客様との出会いを活かすツールの商品開発や提案、HP制作、そして営業マン基本セミナーなどを行っている。

「異業種交流会で知り合った方から丁寧なお葉書をいただいたことがありました。とてもうれしくて思わずお電話をしたことから、その方との距離がグーンと縮まり、今もお付き合いをさせていただいております。このような経験から理念が生まれ、理念に沿った商品作りを始めました。」と渡邊氏。

そして、あたたかな手書きの筆文字が印象的な「みつはつ葉書」が完成

した。書くことに慣れていない経営者や営業職の方にとっても活用しや



渡邊代表取締役の話に聞き入る受講生が印象的なセミナー風景

すいデザインで、心が通い合う一助として役立っている。こうした筆文字でメッセージを書いた商品や心をつなぐ商品を「みつはつ meets × hearts」ブランドとして展開。色鉛筆などをセットにしたオリジナルぬり絵はがき「こころの彩(いろどり)」は、病院の売店などで販売され、「手軽にお見舞いのお返事が書ける。」と入院している方から好評を得ている。

### 人財育成のお手伝い事業「みなよい会」を立ち上げる

同社は7名という小規模な会社だが、人財育成に力を入れている。「毎日行う朝礼では社員の力を引き出せるよう工夫しています。社長だけが話をするのではなく、その都度テーマを社員が考えたり、質問形式にしたりするなど、社員自身の考える力や発信する力を養うようにしています。」また、人間的にも成長できるよう勉強会などへの取り組みにも積極的だ。

入社当時59歳で包装配送業務をしていた社員が、7年経った今ではお客様からの信頼が厚い、素晴らしい営業マンとして成長したという。「工務、企画、制作とあらゆる仕事に責任をもって取り組んでくれています。」と渡邊氏。

昨年、その社員が東京の大ホールで自分の仕事に対するこだわりをプレゼンするという、誰にでもできることではない貴重な体験を成し遂げた。「『人はいくつになっても変わる』と人財育成の重要性を実感しました。挫折しそうなになりながらも、続けてきたことがようやく成果につながったと思います。」

そして、渡邊氏は「自分と同じように、人財育成をしなくては思いながらも、なかなか取り組めないでいる社長様のお役に立ちたい」と人財育成を支援する「みなよい会」を立ち上げた。「社員一人ひとりの力を最大限に活かすための情報伝達や社員が発言しやすい社風づくりのお手伝いをしています。」現在は数社の支援を手がけている。

「ちよだはこれからも物事の本質を追究する目と新しい価値を創造する力を常に養いながら、『心が通いあわせづくり』をモットーに、表現を通して感動が生まれる商品作りやサービス提供に挑戦していきます。そして、本物の営業支援会社として、仕事を通して人の幸せに関わり、自分の成長を喜びとするような人財育成に取り組む続けたいです。」と力強く語ってくれた。



「みなよい会」の参加者は皆さん真剣な表情



簡単にできるぬり絵はがき「こころの彩(いろどり)」。文字や絵などさまざまなパターンがある



社内には筆文字で書かれたあたたかな言葉と絵が飾られ、アットホームな雰囲気だ

### 株式会社ちよだ

代表取締役 渡邊 敬子

〒531-0076  
大阪府大阪市北区大淀中4丁目12番20号  
TEL : 06(6458)8381  
FAX : 06(6458)8384  
http://chiyodajp.com



【事業概要】・印刷事業(名刺・封筒・伝票・会社案内・パンフレット等商業印刷物制作、営業支援印刷物制作) ・営業支援事業(販促集客プロデュース ・商品開発支援 ・営業力を高める顧客セミナー) ・ホームページ制作・運用・支援サービス